

作成：
患者 ID：

(文書 No. 0051)
患者氏名：

様式 I (説明同意書・同意書有)
様

核医学検査説明書：骨シンチ

検査名 骨シンチ

《説明：0051 骨》

使用する放射性医薬品：ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc) 注射液 (^{99m}Tc -HMDP)

検査予定日 同意書に記載

目的

骨に異常がないか全身の骨について調べます。

骨に集積する特徴を持つ放射性医薬品（放射線を出す薬）を注射し、薬が骨に分布した状態をガンマカメラという装置で撮影します。（骨粗しょう症の検査ではありません。）

本検査で得られる画像は、適切な診断や治療計画を行う上で役に立ちます。

検査手順

食事制限等、検査前に注意することはありません。

1. 放射性医薬品を静脈注射し、撮影開始時刻を伝えます。

（放射性医薬品が骨に十分集積するまで数時間必要とするため、撮影開始時刻は、注射の 2 時間半～4 時間後になります。食事はとっていただいて構いません）

2. 撮影開始前に、排尿していただきます。

（膀胱に尿が溜まっていると骨盤付近の骨の異常がわかりにくくなります。）

3. 全身の骨を撮影します。（撮影時間：30～40 分）

副作用

放射性医薬品による副作用発生率： 10 万人に 1 人と報告されています。

（副作用としては、発疹、悪心、嘔気、血圧低下、徐脈、頭痛、めまいなどがあります。）

被ばく

使用する放射性医薬品による被ばく線量は約 4mSv です。

（参考：胸部～骨盤部の単純 CT における被ばく線量は約 13mSv）

検査はその有益性が、被ばくの危険性を上まわると判断した時のみ行います。

検査後の注意

検査後も、わずかな放射線が体内から放出されていますので、放射性医薬品投与後 12 時間は乳幼児との密接な接触は避けてください。

授乳中の方については、注射後最低 12 時間の授乳制限をしていただきます。

※妊娠中または妊娠の可能性のある方には検査を行いません。

※予約の変更は、検査 2 日前までをお願いします。（連絡先：053-474-2222 内線 2965）

